

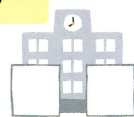
学校支援ボランティア活動の流れ

学 校

ボランティアを
する人

こんなボランティアが
いてくれるといいなあ

子どもたちのために学校で
ボランティア活動をしたい



専任コーディネーターに
相談しよう

ボランティア活動の決定

事前の打ち合わせ

活動の実施

学校からの依頼にもつぎ、学校支援ボランティアに実際に活動を行ってもらうなど、学校とボランティア、あるいはボランティア間の連絡調整などを行い、学校支援地域本部の実質的な運営を担います。各中学校区に4～7名配置されています。

本事業では、傷害保険に加入しており、ボランティア自身がけがをした場合は保険で対応します。
それ以外にも活動中の安全確認や災害が起きた際の避難場所を確認しておきましょう。事故や問題などが発生したときや不審者等と遭遇した場合の連絡先や連絡方法なども確認しておきましょう。

学校では、より高い教育効果を期待して、学校支援ボランティアの協力を求めています。また、地域でも、子どもたちのために何か協力できないかと考える人が増えてきています。

子どもは「地域の宝」です。大田の子ども達の健やかな成長のために、地域につくられた「学校の応援団」の一員となって、学校と、子ども達と一緒に活動してみませんか？興味がある方はお近くの公民館または教育委員会までお問い合わせください。



《大田市学校支援地域本部事業》

さあ、はじめましょう！ 学校支援ボランティア

学校支援地域本部事業とは

地域の皆さんが「学校支援ボランティア」として学校を応援することによって、学校教育のさらなる充実を図り、地域住民が自らの経験や学習の成果を活用する場を広げるための事業で、いわば地域につくられた「学校の応援団」です。



小学校の生活科(野菜作り)支援 川合小学校

大田市教育委員会 社会教育課

〒694-0064 大田市大田町大田口1111番地
TEL:0854-82-1600(代) FAX:0854-82-5395

学校支援ボランティアとは

「子どもたちの教育のために役に立ちたい!」という熱い思いをもって、学校での学習活動や環境整備活動などを支援するボランティア活動です!

できる人が

- ☆地域の子どもたちのために何かをしたい
- ☆自分の持っている技術や知識を活かしたい など



できるときに

- ☆この日は休みだから時間がとれる
- ☆近くまで行く用事があるからついでに行こう など



できることを

- ☆本の読み聞かせは好きだし得意だ
- ☆登下校の見守りなら協力できる など



学校支援ボランティアの活動

☆学校支援ボランティアには、専門的知識や技術が必要なものもありますが、**誰にでもできるボランティア活動もたくさんあります。**

(1) 学習支援ボランティア

- 教科学習の補助(家庭科の実習補助、水泳学習の支援、書道の指導など)
- 総合的学習の時間の補助(昔の遊び指導、農作物や植物栽培の支援など)
- 校外学習の引率(登山や遠足のサポート、買い物体験見守りなど)
- クラブ活動補助(囲碁、グラウンドゴルフなど)

(2) 環境支援ボランティア

- 花壇の整備、芝生の手入れ、庭木の剪定
- 子どもの安全確保(通学時の見守り、朝の声かけなど)

(3) 図書ボランティア

- 本の整理、破損本の修繕、本の紹介
- 読み聞かせ(週に1~2回 年間を通して活動)



健やかな子どもの成長のために、ご協力ください!

学校支援ボランティアとして

☆明るいあいさつを心がけましょう!

- ・最初の出会いが大切です。子どもの手本になってください。

☆子どもをたくさんほめましょう!

- ・ほめられるのが嫌いな子はいません。子どもの活動意欲が高まります。

☆自信を持って大きな声で話しましょう!

- ・せつかくのよい話でも、聞こえなければ子どもたちに伝わりません。

☆時には厳しく、毅然とした態度で!

- ・友達を傷つけるような言動があれば、遠慮せずしっかり注意しましょう。

☆活動で気がついたことは、先生方に相談しましょう!

- ・疑問に感じたり、対応に困ったりしたときは、そのままにせず、相談しましょう。

☆以下のことには十分注意してください!

- ・いかなる場合でも体罰はしない。
- ・活動の中で知り得た子どもの情報、秘密は守る。
- ・学校や先生の悪口を、子どもの前や地域で言わない。



学校支援ボランティアのみなさんの声(仁摩地域)

学習支援に参加して、楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。子ども達から「ありがとう!」と素晴らしい笑顔をもらう喜びは、何よりのものです。形では表せない、心のつながりができた安堵感。お役に立てた充実感をもって、感謝しています。



菅森喜久子さん

主人と子どもの見守り活動を始めて6年になります。子どもとふれあうことで、私も若返っています。卒業式の日「6年生が「長いことお世話になりました」と言って寄せ書きをくれた時は、とても嬉しかったです。子どもに会うのが楽しみです。子どもに会うのが楽しみです。すし続けていきたいです。



沖千波さん